

## 平成29年度第4回青森市子ども・子育て会議（会議概要）

- 1 開催日時 平成30年2月16日（金）18:00～19:05
- 2 開催場所 青森市福祉増進センター（しあわせプラザ）3階 大会議室
- 3 出席委員 天内博久 委員、伊藤えり子 委員、今村良司 委員、内海隆 委員、  
（12名） 川名裕美 委員、河野五百子 委員、高坂覚 委員、橋本歩 委員、  
長谷川涼子 委員、松本香 委員、宮崎秀一 委員、和田律子 委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局出席者 福祉部長 能代谷潤治  
福祉部次長 荒内隆浩  
福祉部子育て支援課長 中嶋智明  
保健部健康づくり推進課長 鈴木久美子  
浪岡事務所健康福祉課長 花田清志  
子どもしあわせ課副参事兼子ども支援センター所長 三浦裕子  
子育て支援課副参事 泉澤豊  
子育て支援課主幹 村田幸長、主事 石岡洸希

### 6 会議次第

- (1) 開会
- (2) 委嘱状交付
- (3) 福祉部長あいさつ
- (4) 組織会
  - ・委員紹介
  - ・事務局紹介
  - ・会長及び副会長の選出
- (5) 事務局説明  
青森市子ども・子育て会議の主な役割等について
- (6) 議事  
特定教育・保育施設の利用定員について
- (7) その他
- (8) 閉会

## 7 議事概要

### (4) 組織会

#### ○会長の選出

内海委員を推薦する者があり、全委員異議なく全会一致で、内海委員が会長に選出された。(内海委員了承)

会長 内海 隆 (公立大学法人青森公立大学 経営経済学部 教授)

#### ○副会長の選出

伊藤委員を推薦する者があり、全委員異議なく全会一致で、伊藤委員が副会長に選出された。(伊藤委員了承)

副会長 伊藤 えり子 (一般社団法人 慈恵会 事業所内託児施設クローバー (在宅ケアサービスセンター 一室長))

### (5) 事務局説明

〈青森市子ども・子育て会議の主な役割等について〉

■事務局から資料3及び資料4について説明。

質疑・意見

特になし

### (6) 議事

〈特定教育・保育施設の利用定員について〉

■事務局から資料5について説明。

質疑・意見

特になし

その他、異議がなく、原案どおり承認された。

■事務局から参考資料1及び参考資料2について説明。

質疑・意見

特になし

### (7) その他

●事務局 放課後児童会について、2点報告したい。

1点目は、開設時間の延長について。

現在、平日は18時までの開設時間としているが、延長の要望が多方面

から寄せられたこともあり、検討した結果、平成30年9月1日より、平日の開設時間を30分延長し、18時30分までとすることとした。

2点目は、利用負担金について。

利用負担金については、平成16年の事業開始以来、3,000円としてきた。

しかしながら、対象年齢の拡大、全ての小学校区での開設、支援員の処遇改善等、事業を拡大してきたため、現在の利用負担金で持続可能か検討した結果、平成30年9月1日より、3,200円へ値上げすることとした。

利用者負担金に係る条例の改正案を、市議会へ提出する。

○委員 放課後児童会の利用者数の増加傾向は、どのようになっているのか。

●事務局 対象児童を小学校6年生までに拡大した平成27年度においては、年間平均2,115人、平成28年度は2,361人、平成29年度は2,616人であり、平成30年度は2,867人と見込んでいる。

なお、対象児童が小学校3年生までだった平成26年度においては、年間平均1,712人となっている。

○委員 支援員の配置基準はどうなっているのか。

●事務局 学年関係なく、児童40人に対し、支援員2人としている。

○委員 利用者は今後も増加していくのだろうか。

●事務局 あくまで予測だが、未就学児の保育の需要については、平成31年度にピークが来ると見込まれているため、そのままスライドすると、放課後児童会のピークはその後に来る可能性がある。

○委員 子どもの居場所が確保されていることは、大事であると思う。

○委員 前回の子ども・子育て会議において、青森市子ども・子育て支援事業計画の中間年の見直し案における、保育の供給が不足している地域について、分園や小規模の設置も認める、という話があった。

その後の進展状況はどうか。

●事務局 計画の見直し案については、平成30年1月5日に市内の施設向けに説明を行い、その後、いくつかの施設から分園や小規模の設置について相談を受けている。

今後、認可することとした際には、当会議において、利用定員の設定等について御意見をいただくこととなる。

(8) 閉会